

財政状況等一覧表（平成１９年度）

（単位：百万円）

団体名 備前市

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
6,406	4,410	510	11,325

1. 一般会計等の財政状況

（単位：百万円）

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	16,399	15,941	458	378	120	18,817	
備前市土地取得事業特別会計	202	201	1	1	201	-	
備前市飲料水供給事業特別会計	14	12	2	2	6	5	
備前市駐車場事業特別会計	25	17	8	8	-	-	
備前市墓園事業特別会計	13	10	4	4	2	32	
一般会計等	16,645	16,174	472	392		18,854	

2. 公営企業会計等の財政状況

（単位：百万円）

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額／不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
備前市水道事業会計	824	848	△ 24	1,265	10	1,232	89	法適用
備前市国民健康保険病院事業会計	4,451	4,991	△ 540	3,257	223	4,706	2,179	法適用
備前市簡易水道事業会計	(歳入) 27	(歳出) 27	(形式収支) 0	(実質収支) 0	20	233	205	
備前市郷土料理館事業会計	(歳入) 47	(歳出) 34	(形式収支) 13	(実質収支) 13	-	-	-	
備前市宅地造成分譲事業会計	(歳入) 59	(歳出) 56	(形式収支) 2	(実質収支) 212	-	-	-	
備前市下水道事業会計	(歳入) 4,533	(歳出) 4,445	(形式収支) 88	(実質収支) 56	1,636	25,182	20,598	
備前市農業集落排水事業会計	(歳入) 36	(歳出) 30	(形式収支) 6	(実質収支) 6	18	427	256	
備前市漁業集落排水事業会計	(歳入) 28	(歳出) 24	(形式収支) 4	(実質収支) 4	15	6	5	
備前市個別排水処理事業会計	(歳入) 21	(歳出) 20	(形式収支) 1	(実質収支) 1	16	214	186	
備前市国民健康保険事業会計	(歳入) 4,866	(歳出) 4,754	(形式収支) 112	(実質収支) 112	277	116	-	
備前市老人保健医療事業会計	(歳入) 5,036	(歳出) 5,095	(形式収支) △ 59	(実質収支) △ 59	426	-	-	
備前市介護保険事業特別会計	(歳入) 3,244	(歳出) 2,976	(形式収支) 267	(実質収支) 267	466	-	-	
公営企業会計等計				5,134		32,116	23,518	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
3. 「資金剰余額／不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額／不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
岡山県広域水道企業団	(総収益) 4,467	(総費用) 6,331	(純損益) △ 1,864	(資金剰余金額) 4,578	1,679	53,362	－	法適用
東備農業共済事務組合	(総収益) 124	(総費用) 124	(純損益) 0	(資金剰余金額) 179	－	－	－	法適用
岡山県市町村税整理組合	68	66	2	2	2	－	－	
岡山県市町村総合事務組合 (一般会計)	11,989	11,149	839	839	2,262	－	－	
岡山県市町村総合事務組合 (貸付金特別会計)	1,177	995	182	182	－	－	－	
岡山県市町村総合事務組合 (脱退還付金特別会計)	47	46	1	1	47	－	－	
岡山県市町村総合事務組合 (交通災害共済特別会計)	10	5	6	6	－	－	－	
岡山県後期高齢者医療 広域連合	1,242	1,233	9	9	－	－	－	
東備消防組合	1,091	1,061	31	31	－	1,302	885	
旭東用排水組合	34	29	5	5	－	－	－	
和気老人ホーム組合	164	154	10	10	－	291	87	
和気北部衛生施設組合 (一般会計)	560	524	36	36	－	192	53	
和気北部衛生施設組合 (鶴飼谷温泉特別会計)	442	439	3	3	－	－	－	
和気・赤磐し尿処理 施設一部事務組合	499	478	21	21	－	1,431	79	
和気・赤磐共同 コンポスト事務組合	334	272	62	62	－	854	－	
一部事務組合等計				5,964		57,432	1,104	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)									
地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体か らの出資金	当該団体か らの補助金	当該団体か らの貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
財 団 法 人 備 前 市 施 設 管 理 公 社	7	64	50	－	－	－	－	－	
片 上 埠 頭 開 発 株 式 会 社	14	136	10	－	－	－	－	－	
備 前 市 土 地 開 発 公 社	3	31	10	－	－	183	－	157	
岡 山 セ ラ ミ ッ ク ス 技 術 振 興 財 団	9	451	235	6	－	－	－	－	
日 生 有 線 テ レ ビ 株 式 会 社	△ 3	40	68	－	9	－	－	－	
財 団 法 人 吉 永 町 振 興 公 社	△ 1	50	50	－	－	－	－	－	
地方公社・第三セクター等 計			423	6	9	183	0	157	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

充当可能基金名	(単位:百万円)		
	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財 政 調 整 基 金		1,484	
減 債 基 金		227	
そ の 他 充 当 可 能 基 金		639	
充 当 可 能 基 金 計		2,350	

(注)「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実 質 赤 字 比 率	3.14	3.46	0.32	△ 13.14	△ 20.00	水 道 事 業 会 計		156.7	
連 結 実 質 赤 字 比 率		48.79		△ 18.14	△ 40.00	国 民 健 康 保 険 病 院 事 業 会 計		81.6	
実 質 公 債 費 比 率	23.7	21.4	△ 2.3	25.0	35.0	備前市簡易水道事業会計		1.5	
将 来 負 担 比 率		164.7		350.0		備 前 市 郷 土 料 理 館 事 業 会 計		37.5	
財 政 力 指 数	0.52	0.56	0.04			備 前 市 宅 地 造 成 分 譲 事 業 会 計		100.0	
経 常 収 支 比 率	96.4	94.9	△ 1.5			備前市下水道事業会計		9.8	
						備前市農業集落排水 事 業 会 計		101.8	
						備前市漁業集落排水 事 業 会 計		33.9	
						備前市個別排水処理 事 業 会 計		25.0	

- (注) 1. 「実質赤字比率」・「連結実質赤字比率」・「資金不足比率」は負数(△～)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。